


意向確認リストの作成

 施設で新型コロナウイルス感染者が発生した場合に迅速に対応するため、入所者やそのご家族に、中和抗体療法の意向確認に係る説明書の内容を説明し、「中和抗体療法意向確認リスト」を作成する。

★ 施設内で陽性者が発生したときにやること



県(クラスター対策班及び中和抗体療法調整チーム)との調整

1



「日次報告webフォーム」の入力

陽性者の発生を報告
(陽性者は入所者だけでなく職員の場合も入力)

※1と2は順番が前後する場合があります

2



クラスター対策班との連絡調整

クラスター対策班から入電。適宜連絡調整をする。

県が手配する往診チームが
中和抗体療法を行う場合

3



中和抗体療法調整チームの連絡調整

県担当から入電。
「意向確認リスト」から感染が疑われる者や濃厚接触者を抽出・提出し、今後の流れ等の説明を受ける。

即日～翌日

4



往診チーム派遣により投与開始

往診チームが施設で投与開始。投与後1時間は往診チームが経過観察をする。

5



投与後の対応

投与後24時間以内に副作用や状態悪化を確認した場合は、すぐに往診チームに連絡をする。
※連絡先は事前に伝達
※繋がらない場合は中和抗体療法調整チームへ連絡 連絡先：045-285-0525(平日9:00～17:00)

連携医師等が
中和抗体療法を行う場合

3



連携医師等との調整

連携医師等へ状況を伝える。
事前に準備した「意向確認リスト」の中から感染を疑われる者を抽出した上で、そのリストを連携医師等へ提出する。

即日～翌日

4



連携医師等が投与開始

連携医師等が施設で投与開始。投与後1時間は連携医師等が経過観察をする。

5



投与後の対応

投与後24時間以内に副作用や状態悪化を確認した場合は、すぐに連携医師等に連絡をする。



保健所(県所管含む)との調整

1



保健所に速やかに連絡

施設内の状況を確認し、次の人数を把握する
→職員数、入所者数、うち感染が疑われる者の数、感染者数

2



職員及び入所者のPCR検査の計画を相談

職員及び入所者のリストを提出
(施設で感染者が1例でも確認されたら行政検査が可能)

3



濃厚接触者の特定、PCR検査実施

保健所の指示に従い、対象者の行政検査を進める。

4



施設内で療養する感染者等の管理方法を相談、決定

感染者について、次のことを相談した上で個々に対応する。
【対応事項】
入院調整、健康管理方法、保健所への連絡方法、急変時の対応

<参考：中和抗体療法について>

施設におけるクラスター発生の予防又は拡大防止のため投与します。

- ・ 連携医師等又は往診チームが30分～1時間の点滴を施設で行います。
- ・ まれに副反応(発熱や悪寒、蕁麻疹)が出ます。
- ・ 投与当日のSPO₂が95%以下の場合には治療が受けられません(当日往診チームが計測します)

※詳しくは医師による説明があります